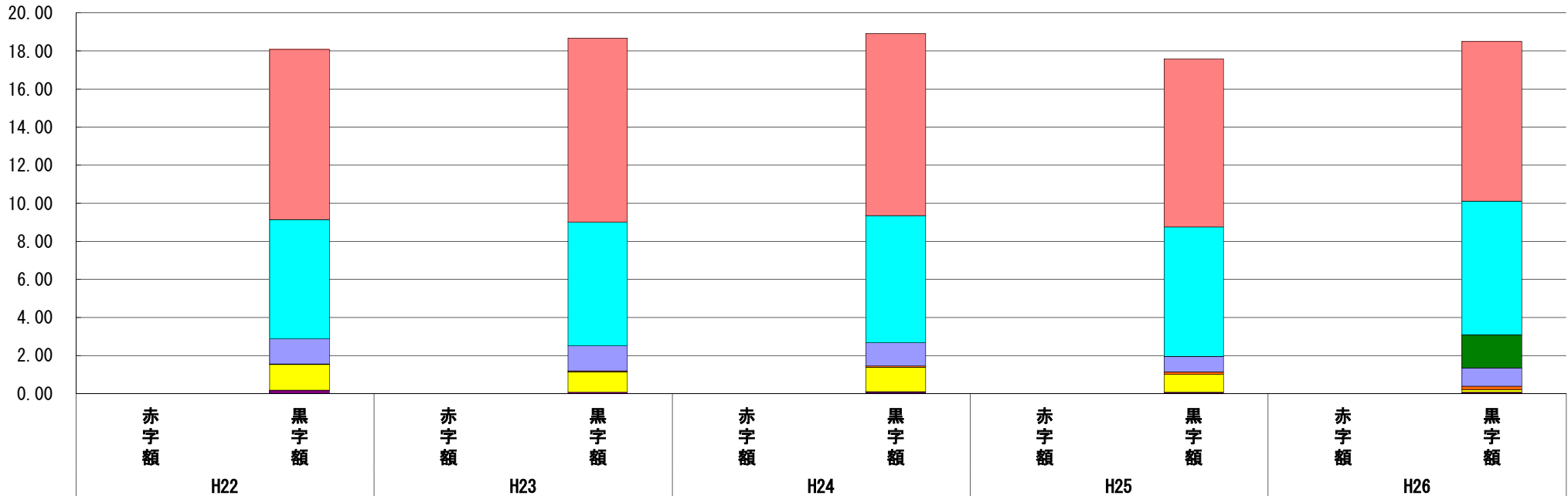


## (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

長野県下諏訪町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計		8.95	9.67	9.57	8.84	8.39
一般会計		6.27	6.49	6.69	6.80	7.03
下水道事業会計		-	-	-	-	1.75
国民健康保険特別会計		1.33	1.34	1.21	0.80	0.96
交通災害共済事業特別会計		0.01	0.03	0.08	0.13	0.18
温泉事業特別会計		1.36	1.08	1.28	0.94	0.13
駐車場事業特別会計		0.18	0.07	0.09	0.07	0.06
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### 分析欄

全ての会計において黒字であり、実質赤字比率はない。  
 【水道事業会計】漏水や維持管理に係る放水の増加により年間配水量は前年と比べ増加しているが、収益としての世帯毎の使用量は減少しているため、事業収入は減となっている。また、歳出において浄水施設の改修などに伴う工事費の増により当期利益は前年と比べ減となった。

【下水道事業会計】26年度より企業会計に移行した。年間有収水量は下水道接続人口の減少などにより減少傾向にある。当町の下水道普及率は99.9%となっており、今後は管渠等の老朽化に伴う布設替工事等を進めていかなければならない。計画的に事業を進め、健全経営に努める必要がある。

【温泉会計】前年と比べ、料金収入は増額となったが、設備の老朽化に伴う経常経費や工事費が増加しており、実質収支が減少した。

【一般会計】歳出における公債費の減少により比率は上昇した。今後、大型事業実施に伴う公債費の増が見込まれるため、状況を注視していく必要がある。